

水戸芸術館現代美術センター

田中彰ワークショップ

「WOODCUT LURES WORKSHOP

—木版画で釣具をつくる—

2021年6月19日(土), 20日(日)

参加者
募集!

豊かな水資源に囲まれた水戸周辺は、釣りに親しむ方も多い地域です。今回はその釣人のひとり、版画家の田中彰さんとともに木版画を施した釣具をつくります。釣竿と浮き/ルアー(疑似餌)を作る二つのコースはどちらも電熱ペンで木を焦がしながら版木を彫り、摺った和紙を道具に貼ります。釣りの経験は問いません。自作の道具を作る喜びとそれに連なるゆっくりと自然と向き合う時間をお楽しみください。

田中彰ワークショップ「WOODCUT LURES WORKSHOP —木版画で釣具をつくる」

会場：水戸芸術館現代美術ギャラリー ワークショップ室

講師：田中彰（版画家） 技術協力：栗原敬太（フィッシングアドバイザー）

A | 釣竿と浮きのコース

日時：6月19日(土) ①10:00-13:00 / ②15:00-18:00

定員：各回15名程度

対象：小学生以上 ※小学生は要保護者同伴

参加費：2500円 ※材料費込み

主な対象魚：

ハゼ、ヌマチチブ、テナガエビ、クチボソ、ウグイ、コブナ、イワシ、アジ、メバルなど

【作り方】

1. グリップ 木版画で刷った紙を巻いて、竿を握る部分を作ります。
2. 穂先 竹の先端にリリアンと葉っぱや羽などを付けます。
3. 浮き 木版画を木に貼って、浮きを作ります。できるだけ目立つような色にしましょう。
4. 仕掛け 最後に糸やハリを付けて、完成。

1.  4. ※水戸芸術館で用意した篠竹で釣竿を作ります



田中彰（たなか・しょう）

1988年岐阜県生まれ。茨城県ひたちなか市在住。木の持つ時間や空間をテーマに木版画を軸に制作。その土地にある木に注目しリサーチをするなかで、みえてくる人や自然の関わりを探る。身近な植物としてのコーヒー豆の旅をめぐる作品も発表。

主な個展：町田芹ヶ谷えごのき縁起（町田市立国際版画美術館 東京 2019）、project N67（東京オペラシティ アートギャラリー 東京 2017）樹について（三菱一号館美術館 東京 2016）など。

B | ルアーコース

日時：6月20日(日) 10:00-17:00 ※休憩あり

定員：15名程度

対象：中学生以上

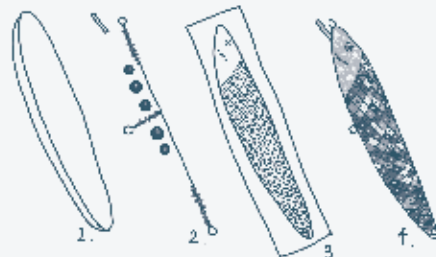
参加費：6000円 ※材料費込み

主な対象魚：

スズキ、ヒラメ、ブラックバス、ブルーギル、ニゴイ、マルタウグイ、ナマズ、ライギョなど

【作り方】

1. 成形 バルサ材を削って、ルアーの形を作ります。
2. 内部構造 ステンレスワイヤーを曲げて、フックをつける部分を作ります。おもりも調節して入れます。リップをつける場合はアクリルの板を削ります。
3. 図柄作り 表面に貼る版画を彫って、薄い和紙に摺ります。
4. 組み立て それぞれ接着していきます。魚の形の版画を貼る前に、カラフルな色や箔など貼ります。



申込方法

水戸芸術館ホームページの申込フォームに必要事項を入力し、お申込みください。

申込開始（先着順）：6月1日（火）9:30-

水戸芸術館ホームページ→

※申込フォームでの申込みが難しい方は電話でお問い合わせください。（Tel.029-227-8120）



【新型コロナウイルス感染症に関するお客様へのお願い】

新型コロナウイルス感染症の再拡大など、状況の悪化により内容の変更や延期または中止を余儀なくされる場合がございますので、最新情報は当館ウェブサイトやSNSにてご確認ください/必ずマスク着用にてご来館ください/手洗いと手指の消毒にご協力ください/まわりの方と距離をおとりください。館内での会話はお控えください/体調がすぐれないお客様はご来館をお控えください/感染すると重症化の恐れがあるため、高齢者等の皆様には感染対策・体調に十分ご注意ください。ご来館ください/『いばらきアマビエちゃん』へのご登録をお願いいたします/クロークは当面の間、中止させていただきます

◆交通のご案内 ◎バス：「泉町一丁目」下車、徒歩2分 ◎駐車場：地下に市営五軒町駐車場あり。駐車場入り口は芸術館北側東端です（有料）